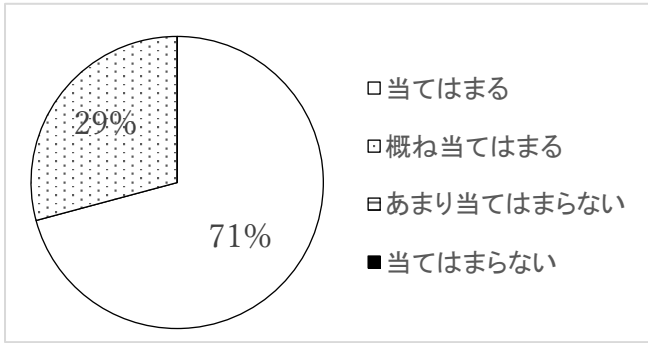
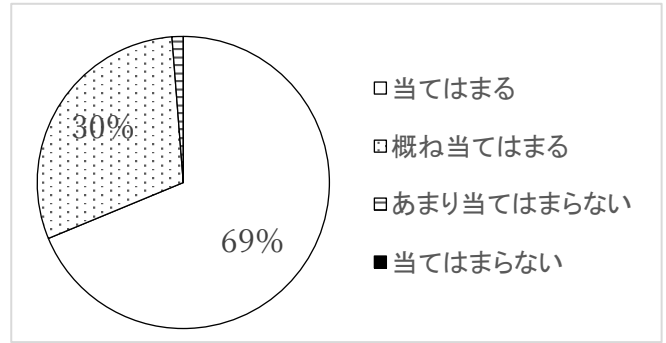


1. 分科会は課題解決に向けて参考になるものでしたか？



2. ブレイクアウトルームでの協議は有意義でしたか？



《分科会についてのご意見・ご感想》 ●課題

○この形を是非フォーマットとして次期教頭会に引き継いでいただきたい。非常に良かった。移動なくこうして全国とつながり話し合えることは大変良かった。参集型からの脱却をぜひともお願いします。佐賀の皆様が作ったシステムをこれからは生かしてほしいです。

○地域との連携、小中学校との連携、そしてコミュニティ・スクールについて中心となる交流会でしたが、実践をお聞きしてとても大きな刺激を受けました。地域との連携では協働の意味を考えて実践すること、小中の連携では先生方・保護者・地域の意識改革、そしてコミュニティ・スクールでは、地域と学校の互惠関係を築くことであることが大切であると分かりました。今後の実践に生かしていきたいと思いました。

○当初は、ブレイクアウトルームに接続できるか心配だったが、無事に接続でき、まずは、ホッとしました。分科会では、それぞれの発表がとても参考になりました。児童生徒、保護者、地域の実態把握とともに、ビジョンの共有等、意識が重要であることが分かりました。これからは生かしていきたいと思いません。指導・助言も、たいへん具体的でわかりやすくイメージできました。スクラップ&ビルド、これからの方向性も考えることができました。お世話頂いた佐賀県の教頭先生方、大変有り難うございました。

○貴重な3つの提言を拝聴し、いずれも大事なことは、「どんな学校にしたいか」「どんな資質や能力を育てたいか」をはっきりさせること、そして、それを共有（職員間・保護者・地域）することだと感じました。校長の学校経営を支えていく上で、今回のことを肝に銘じて、職務を遂行していきたいと思います。

○教頭の業務の範囲や内容は、地域によって、または教育委員会と学校との関係性によって、あるいは学校ごとでも違うかもしれません。しかし、概ね教頭は事務的な仕事やいわゆる雑用や非常事態における緊急出動など、何でもやるけど何やってるかわからない中で、皆さん奮闘しておられると思います。その中で、マネジメントについての研究課題を明確に意識化し、実践に結びつけておられる話を数多く聞いて、大変刺激を受けました。実践発表いただいた先生方に、感謝と敬意をお伝えしたいです。

○小中連携や地域社会との連携について、具体的な取り組みや全国の先生方のお話をお聞きすることができた大変有意義でした。提言の中の「小中連携構想図」や「子供像系統表」の作成や学校運営協議会での生徒児童像やまちづくりの理念やビジョンの共有、加えてそれを実現するための組織、その組織が機能するための手立てなど本当に貴重な情報を得ることができました。本市も数年するとコミュニティ・スクールが導入されていくと思いますので、本日の実践を参考にしながら自己研鑽を積んでいきたいと思います。

○教頭としての役割とは何かを改めて考えさせられた分科会だった。今回は Zoom での自分の準備も大変だったが、佐賀大会の運営をなさっている教頭会はさらに大変だったことだろうと思う。が、それらをふまえてもなお充実した大会であった。参加できたことに感謝したい。2日間有り難うございました。

○分科会においては、小中連携、地域とのつながり、コミュニティ・スクールと、自分が所属する自治体・学校でも中心となる柱の課題について協議を行うことができ大変勉強になりました。自分では普通だと思っていたことが、全国的に見て大変恵まれたシステムになっていることなどに気がきました。また、協議の中では、地域の異なる学校での生の声を伺うことができ、リモートではありますが、有意義な時間を過ごすことができました。

●提言をされた先生方への質問等ができればよかったですと思います。

●1日3本の提言は体力的にも厳しかったと思います。他の分科会は2本の提言のところもあったので、よかったら揃えていただけると助かると思います。

●グループ協議発表の際は、進行者からグループ番号を指示してもらえると、発表しやすかったです。